

指静脈情報と生体情報との照合をモフィリア デバイス内で行います

① 指静脈情報の呼び出し

認証するユーザーの指静脈情報をクライアント、環境によってはサーバーやストレージなどから呼び出します。

※指静脈情報の保管先には任意の場所を指定可能



サーバー、外部ストレージなど
(環境による)



PC、タブレット、組み込み
機器など

② 指静脈情報の読み込み

予め記録されている指静脈情報をデバイス内に読み込みます。

④ 照合結果

(true/false, ユーザーID, 指ID)



⑤ 照合結果に基づいた処理

③ 生体情報撮影

+
指静脈情報との照合

照合に成功するまで、または一定時間経過するまで撮影と照合を繰り返します。

開発キット : MSDK-DCL-02

対応プラットフォーム
Windows, Android, Linux, Mac

この色の文字の部分 (②、③、④) をソフトウェア開発キット MSDK-DCL-02が担当し、それ以外の部分はユーザーアプリケーションで自由に制御できます。



デバイスは生体情報の取得と加工を行い、照合をサーバー上で行います。

① 生体情報の取得



② 生体情報の加工、暗号化、送信



PC、タブレット、組み込み機器など

開発キット : MSDK-DCL-02

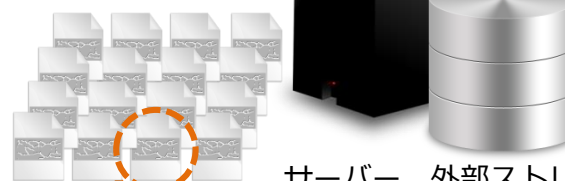
対応プラットフォーム
Windows, Android, Linux, macOS

③ データ通信

生体情報の
認証サーバーへの送信

④ 指静脈情報の準備

照合に使用する指静脈情報を保管/管理されているサーバーやストレージから呼び出し



サーバー、外部ストレージなど

開発キット : MSDK-SAS-02

対応プラットフォーム
Windows, Linux

⑤ 指静脈情報との照合

生体情報と指静脈情報の照合を行う



⑥ 照合結果を利用した制御

アプリケーションの起動、認証者に対応したデータの呼び出し、ロックの解除など

この色の文字の部分 (①、②) をソフトウェア開発キット MSDK-DCL-02、この色の文字の部分 (⑤) をMSDK-SAS-02が担当し、それ以外の部分はユーザーアプリケーションで自由に制御できます。

デバイスで取得した生体情報と合致する指静脈情報をサーバーから検索します。

① 生体情報の取得



② 生体情報の加工、暗号化、送信



開発キット : MSDK-DCL-02

対応プラットフォーム
Windows, Android, Linux, macOS

PC、タブレット、組み込み機器など

③ データ通信

生体情報の
認証サーバーへの送信

④ 指静脈情報の検索

生体情報と合致する
指静脈情報を検索する



サーバー、外部ストレージなど

開発キット : MSDK-SAS-10N

対応プラットフォーム
Windows, Linux

この色の文字の部分 (①、②) をソフトウェア開発キット MSDK-DCL-02、この色の文字の部分 (④、⑤) をMSDK-SAS-10Nが担当し、それ以外の部分はユーザーアプリケーションで自由に制御できます。

検索処理

1対1000まで対応

⑤ 結果のリターン

合致する指静脈情報が見つかったら、それに割り当てられている情報を返す



⑥ 照合結果を利用した制御

アプリケーションの起動、認証者に対応したデータの呼び出し、ロックの解除など